

「てなんど小林 総合戦略」 実現！雇用対策

～ 小林市と宮崎労働局との雇用対策協定に基づく 4つの施策 ～



小林市観光イメージキャラクター
「こすも～」



平成29年2月10日

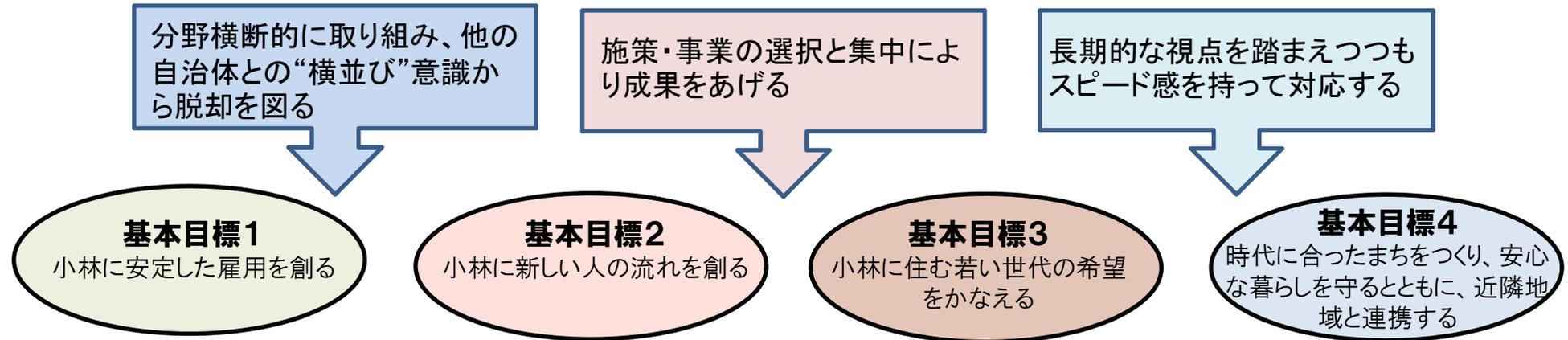


小林市・宮崎労働局



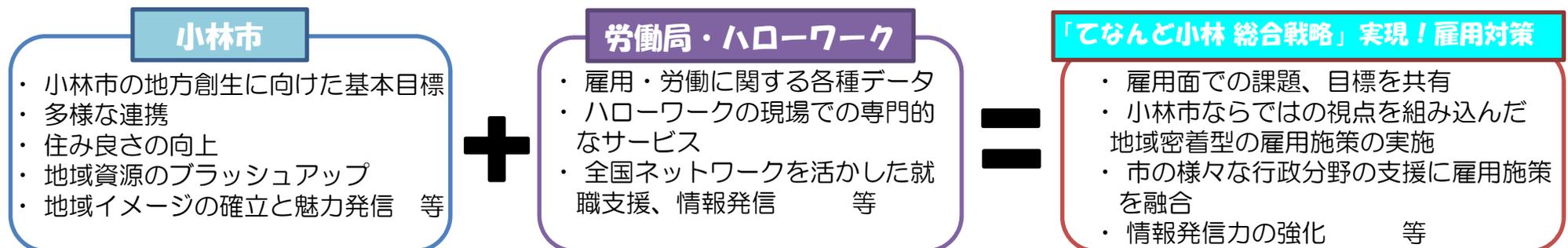
1 雇用対策協定締結の背景・意義

- 「てなんと小林 総合戦略」では、《若い世代の雇用（「しごと」）の創出から「ひと」を呼び込み、「まち」の活性化を図り、まち・ひと・しごと創生の好循環を進める》ことを目指し、以下の3つの施策推進の方針を基本として、4つの基本目標を推進することとしている。



小林市と宮崎労働局・ハローワーク小林が雇用対策協定を締結することで、この地域において一体的に雇用・労働施策を展開することが可能となる。双方の力を結集することにより、まち・ひと・しごと創生の好循環を雇用・労働施策の側面から強く後押しすることができる。

- 雇用対策協定に基づき連携して実施する雇用施策を、『**「てなんと小林 総合戦略」実現！雇用対策**』（雇用対策協定に基づく実施計画）としてとりまとめ、実行していく。



2 「てなんど小林 総合戦略」 実現！雇用対策の全体像

「てなんど小林 総合戦略」 実現！雇用対策

4つの【基本目標】

基本目標1

小林に安定した雇用を創る

基本目標2

小林に新しい人の流れを創る

基本目標3

小林に住む若い世代の希望をかなえる

基本目標4

時代に合ったまちをつくり、安心な暮らしを守るとともに、近隣地域と連携する

※ 雇用対策協定に基づく雇用戦略により、基本目標の達成に向けた雇用施策に係る取組を強化！！

小林市は、若年層の流出と戻りの弱さに着目し、各種意向調査等から「若い世代が希望する仕事を創る」ことを総合戦略の最優先の施策として取り組む。

この若い世代の雇用（「しごと」）の創出から「ひと」を呼び込み、「まち」の活性化を図り、まち・ひと・しごと創生の好循環を進めるため、以下の4つの施策を実施する。

【施策1】

若い世代の「働く」応援プロジェクト

【施策2】

魅力あるふるさと企業（起業）躍進プロジェクト

【施策3】

小林へのUIJターン推進・応援プロジェクト

【施策4】

オール小林でつくるまちプロジェクト

※ 各施策ごとに、中長期的な目標である成果目標（KPI）及び成果目標の達成に向けて毎年度実績をチェックしていく関連指標を整理しています。

3 「てなんど小林 総合戦略」 実現！雇用対策 4つの施策 ①

「てなんど小林 総合戦略」 実現！雇用対策

《施策1》

若い世代の「働く」応援プロジェクト

(若者が知る支援、若者の採用支援、定着支援、郷土愛醸成支援)

《趣旨》

○希望する職種や労働条件とのミスマッチなども、若年層等の域外への転出を引き起こす要因と成り得るという課題がある。

○総合戦略の最優先施策として掲げられている「若い世代が希望する仕事を創る」を実現していくため、各種取組を更に連携・推進していく必要がある。

◎高校生の「地元に住みたいが難しい」「住みたくない」の最大の理由である「希望する仕事がない」を解消するため、企業の若者採用の動きを促進し、また企業を知る機会を積極的につくり、就職・定着に向けた支援を強化していく。

◎将来を担う若者が郷土への愛や誇りを持って豊かに育つよう連携した取組を推進していく。

《成果目標(KPI)・関連指標》

○成果目標 (KPI)

- ・小林所管内の新規高校卒業者のハローワーク小林管内就職割合
H27：36.4%⇒H31：50%

○関連指標

- ・企業ガイダンス等の来場者数
- ・ハローワーク小林学卒ジョブサポーターの支援者数
- ・若者応援宣言企業数、ユースエール認定企業数

《連携して実施する取組》

○若年者への支援

(共同)

- ・**知** 地元企業ガイダンスの開催（学生や保護者等が地元企業の魅力について知り、考える機会を提供）
- ・**知** 学校巡回による地元企業説明会の実施（地元企業の就職担当者が学校に出向き説明等実施）
- ・**探** 若年者のニーズに応じた就労場所の確保・誘致
- ・**探** 就職活動時期にあった求人票の提出要請及び求人開拓、新卒採用計画等調査（ハローワークと市が共に管内事業所を訪問）
- ・**定** 若者応援宣言企業、ユースエール認定企業の取組推進
- ・**郷** 小学5,6年生及び中学生を対象とした職業体験、将来の夢探し事業（グローバルキッズ事業）の実施（地元企業紹介、職業講話など）

(市)

- ・**知** 産学官交流会の開催（学校の進路指導担当者と企業の採用担当者との意見交換&情報共有の場としての位置付け）
- ・**定** 県南若者サポートステーションの利活用周知

(局・HW)

- ・**知** 地元高校生等に対する職業講話の実施
- ・**定** 学卒ジョブサポーターによる新規学卒者に対する個別支援（就職支援、定着支援）

《施策2》

魅力あるふるさと企業(起業)躍進プロジェクト(人材確保支援、企業力向上支援、魅力向上(発信)支援、立地支援)

《趣旨》

○地域を支える地元企業の人材確保のため、企業内での人材育成の充実や仕事と家庭の両立支援等の雇用管理改善の推進も含めた、魅力ある職場づくりへの支援を強化していく必要がある。

○有効求人倍率が高い小林地域における人材不足を解消すべく、求人充足支援を推進し、企業の安定・成長を図る必要がある。

◎地元企業の更なる躍進に向け、各種支援事業や認定制度の周知を図るほか、地元企業の魅力発信や人材確保支援に積極的に取り組んでいく。

◎市民にとって魅力的で安定した「働く場」を創出すべく、新規創業者への支援を実施するとともに、雇用吸収力のある企業の誘致を推進する。

《成果目標(KPI)・関連指標》

○成果目標 (KPI)

- ・誘致企業における新規雇用数 H27～H31 200人
- ・仕事と家庭の両立応援宣言事業所数 H31末 200事業所

○関連指標

- ・くるみん、プラチナくるみん認定企業数
- ・ハローワーク小林的紹介による就職者数
- ・面接会への参加企業数
- ・若者応援宣言企業、ユースエール認定企業数

《連携して実施する取組》

○地元企業支援・強化

(共同)

- ・**確** 人手不足分野の面接会、資格相談の実施(ハローワークによる介護分野の職業相談、資格相談)
- ・**魅** くるみん、プラチナくるみん認定制度の周知、啓発による子育てサポート企業の拡大推進
- ・**魅** ポジティブアクション、仕事と家庭の両立応援宣言等の普及促進
- ・**魅** 若者応援宣言企業、ユースエール認定企業の取組推進【再掲】
- ・**魅** HP等を活用した、各種宣言・認定企業の情報発信

(市)

- ・**確** 産学官交流会の開催(学校の進路指導担当者と企業の採用担当者との意見交換&情報共有の場としての位置付け)【再掲】
- ・**確** 積極的な求人情報の発信(人材不足分野等)
- ・**力** ビジネス支援センター(仮称)の設置によるワンストップ相談、経営サポート等の実施
- ・**力** 退職金共済加入促進補助、中小企業大学校受講補助による企業力向上支援(周知等)

(局・HW)

- ・**確** 地元企業へ応募したくなる求人作成方法等の情報提供
- ・**確** 潜在求職者の掘り起こし
- ・**確** 人材不足分野に特化した求人情報の作成及びナースセンター等関係機関との連携
- ・**確・力** 医療・福祉・介護等の人材不足分野の事業主に対する雇用管理改善指導
- ・**力** 雇用関係助成金制度、両立支援等助成金制度等の案内(各種制度内容)

○企業立地・創業支援の推進

(共同)

- ・**立** 企業誘致に係る意見交換会の開催(誘致企業の現地視察の際に、人材確保に向けた意見交換会を実施)

- ・**立・確** 人材確保対策(面接会等)の実施

(市)

- ・**立** 企業誘致のための環境整備(土地、税制優遇措置等)
- ・**立** 企業誘致のための情報収集
- ・**立** 求職者ニーズに沿った企業誘致の推進
- ・**立** ビジネス支援センター(仮称)の設置による創業・第二創業相談、経営サポート等の実施、空店舗活用新規創業者支援事業費補助、創業支援融資利子補給補助等創業支援事業の実施

(局・HW)

- ・**立** 労働市場情報等の統計資料の提供
- ・**立・確** 誘致企業の求人充足支援(求人情報をハローワーク内に掲示)
- ・**立・力** 雇用関係助成金制度の案内(各種制度内容)【再掲】

《施策3》

小林へのUIJターン推進・応援プロジェクト
(情報発信、移定住希望者支援、Uターン支援)

《趣旨》

○域外からの呼び込む力の向上を図るためには、地域イメージの確立とともに、市内外の人に向けその魅力を発信し、伝えていく事が重要。

◎都市圏から地方への移住ニーズを敏感に捉え、移住から定住までをサポートすることで移住しやすい環境の整備を図り、総合的な支援の充実を目指す。

◎市外転出者に対して、Uターンを促す取組を推進する。

《成果目標(KPI)・関連指標》

○成果目標 (KPI)

・移住世帯数 H27～H31 460世帯

○関連指標

- ・こばやしファン・サポーターズCLUB会員数 H31 10,000人
- ・UIJターン歓迎求人への提出求人件数
- ・移住相談会の相談者数

《連携して実施する取組》

○移住・定住支援

(共同)

- ・**情・希** 市が参加する都市部での移住相談会（年5～6回）でのハローワークの求人情報の紹介（CCRC含む）
- ・**希** 市が開催する小林での暮らしを体験する「移住体験ツアー」にハローワーク職員も参加し就職相談を実施
- ・**希・U** 移住相談等でのニーズを基にしたUIJ受け入れ歓迎求人開拓の実施（ハローワークと市が共に管内事業所を訪問）
- ・**希・U** UIJターン就職面接会の実施（市移住相談会において）
- ・**情・U** 帰省時期に合わせた求人情報の提供（公共施設、店舗、市広報等）
- ・**情・U** 宮崎ひなた暮らしUIJセンターの実施するふるさと宮崎人材バンクの利活用周知（CCRC含む）
- ・**U** 小学5,6年生及び中学生を対象とした職業体験、将来の夢探し事業（グローバルキッズ事業）の実施（企業紹介、職業講話など）【再掲】

(市)

- ・**希** ビジネス支援センター（仮称）の設置による創業・第二創業相談、経営サポート等の実施、空店舗活用新規創業者支援事業費補助、創業支援融資利子補給補助等の創業支援事業の実施【再掲】
- ・**希** お試し滞在施設、空き家バンクの活用による移住支援の周知
- ・**情** シティプロモーションによる積極的な情報発信（まちの魅力と就職情報）

(局・HW)

- ・**情・希・U** 求人票に「こばやしUIJターン歓迎求人」を表示し、全国に情報発信

※CCRC：生涯活躍のまち構想

《施策4》

オール小林でつくるまちプロジェクト
(女性、子育て世帯、生活困窮者、障がい者、高齢者等への支援)

《趣旨》

○本市の合計特殊出生率は、全国や県平均に比べ高い水準だが、社会減による出生可能年齢人口の減少等の影響もあって出生数自体は減少が続き、人口減少に歯止めがかからない状況になっている。

○持続可能なまちづくりを推進するため、協働のまちづくりを基盤とした、官民一体となった「オール小林」での展開が重要。

◎女性、子育て世帯、生活困窮者、障がい者、高齢者などあらゆる人々が、その人一人ひとりの能力・魅力を最大限に活かし、活躍できる環境（基盤）づくりを目指す。

《成果目標(KPI)・関連指標》

○成果目標 (KPI)

・仕事と家庭の両立応援宣言事業所数 H31末 200事業所【再掲】

○関連指標

・くるみん、プラチナくるみん認定企業数
・ファミリーサポートセンター登録数 H31 550人（年度末累計）
・ハローワーク小林管内の生活保護受給者等の就職件数

《連携して実施する取組》

○オール小林活躍支援

(共同)

- ・**オ** 求人開拓の実施（ハローワークと市が共に管内事業所を訪問）
- ・**子** 現況届提出時期にあわせた相談窓口の設置（ハローワークの利用案内や就職支援内容の説明、就職活動のアドバイスを実施）
- ・**子** くるみん認定、プラチナくるみん認定制度の周知・啓発による「子育てサポート企業」の拡大推進【再掲】
- ・**女・子** ポジティブアクション、仕事と家庭の両立応援宣言等の普及促進【再掲】
- ・**子** 保育所関係の情報提供
- ・**子** ひとり親家庭への各種支援事業の実施（求人に関する情報収集）
- ・**生** 生活困窮者等に対する就労支援の実施（ケースワーカーと相談員の連携強化、生活保護就労支援員、生活自立相談支援センターによる支援及びセンターの周知）
- ・**障** 小林市障がい者自立支援協議会における連携強化（小林市事務局、HW委員）
- ・**障** 障がい者雇用に関し法定雇用率達成に向けた呼びかけを実施

(市)

- ・**オ** 広報誌やホームページでの情報発信（各種支援事業、法令等の周知）
- ・**高** シルバー人材センターの活用促進（高齢者の活躍）

(局・HW)

- ・**女・子** 妊娠、出産、育児休業等を理由とする不利益取扱いに対する指導

別紙

小林市と労働局との雇用対策協定実施計画に基づく施策の成果目標(KPI)

施 策	成 果 目 標
(1)若い世代の「働く」応援プロジェクト	
	小林所管内の新規高校卒業者に占める小林所管内就職割合について、平成31年度までに50%以上を実現する
(2)魅力あるふるさと企業(起業)躍進プロジェクト	
	誘致企業における新規雇用数 H27~H31 200人
	仕事と家庭の両立応援宣言事業所数 H31末 200事業所
(3)小林へのUIJターン推進・応援プロジェクト	
	移住世帯数 H27~H31 460世帯
(4)オール小林でつくるまちプロジェクト	
	仕事と家庭の両立応援宣言事業所数 H31末 200事業所(再掲)

小林市と労働局との雇用対策協定実施計画に基づく施策の関連指標

施 策		27年度実績	28年度実績	出典 (統計の根拠)等
指 標				
(1) 若い世代の「働く」応援プロジェクト				
①	企業ガイダンス等の来場者数	管内高校生参加者数 8人(ジュニアワーク H27年11月実施)	管内高校生参加者数 66人(企業説明会 H28年6月実施)	ハローワーク小林調べ
②	ハローワーク小林学卒ジョブサポーターの支援者数	219人	188人(H28年12月末現在)	ハローワーク小林調べ
③	若者応援宣言企業数、ユースエール認定企業数	【若者応援宣言】11社 【ユースエール認定】0社	【若者応援宣言】11社(H28年12月末現在) 【ユースエール認定】1社(H28年12月末現在)	労働局 ハローワーク小林調べ
(2) 人材不足分野の人材確保プロジェクト				
①	くるみん、プラチナくるみん認定企業数	【くるみん認定】 累計 小林市 1社(県全体23社) 【プラチナくるみん認定】 累計 小林市 0社(県全体0社)	【くるみん認定】 小林市 1社(県全体24社)(H28年12月末現在累計) 【プラチナくるみん認定】 小林市 0社(県全体1社)(H28年12月末現在累計)	労働局調べ
②	ハローワーク小林的紹介による就職件数	2,185件	1,551件(H28年12月末現在)	ハローワーク小林調べ
③	面接会への参加企業数	11事業所	9事業所	ハローワーク小林調べ
④	若者応援宣言企業数、ユースエール認定企業数【再掲】	【若者応援宣言】11社 【ユースエール認定】0社	【若者応援宣言】11社(H28年12月末現在) 【ユースエール認定】1社(H28年12月末現在)	労働局 ハローワーク小林調べ
(3) 小林へのUIJターン推進・応援プロジェクト				
①	こばやしファン・サポーターズCLUB会員数 H31 10,000人	累計740人	936人(H28年12月末現在累計)	小林市調べ
②	UIJターン歓迎求人提出求人件数	48件	47件(H28年12月末現在)	ハローワーク小林調べ
③	移住相談会の相談件数	178人	91人(H28年12月末現在)	小林市調べ
(4) オール小林でつくるまちプロジェクト				
①	くるみん、プラチナくるみん認定企業数【再掲】	【くるみん認定】 累計 小林市 1社(県全体23社) 【プラチナくるみん認定】 累計 小林市 0社(県全体0社)	【くるみん認定】 小林市 1社(県全体24社)(H28年12月末現在累計) 【プラチナくるみん認定】 小林市 0社(県全体1社)(H28年12月末現在累計)	労働局調べ
②	ファミリーサポートセンター登録数 H31 550人	累計 427人	519人(H28年12月末現在累計)	小林市調べ
③	ハローワーク小林管内の生活保護受給者等の就職件数	60件	59件(H28年12月末現在)	ハローワーク小林調べ